

馬のように力強く、そして確かな歩みを！

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様方におかれましては、どのような新年を迎えたでしょうか。きっと、ご家族やご親類の方々と温かな時間を過ごされたことだと思います。昨年は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。教職員一同、決意を新たにして、子どもたちの健やかな成長を支えるために尽力してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新年にあたり、本日の始業式で、子どもたちへの成長の願いを込めて次のような話をしました。



今年は午（うま）年です。午は、十二支のなかでは7番目に数えられ、時刻でいえば午前11時から午後1時までの2時間をさし、方角では南にあたるそうです。十二支のなかでも、午は成長や成功・繁栄のシンボルとして、縁起がよいものとされています。また、今年の干支は「丙午（ひのえ・うま）」で、全部で60通りあるうちの43番目になります。丙は、植物の成長にたとえると、「芽が成長し、葉が広がり、成長が著しい状態」、さらに陽の火、つまり太陽の光を意味しているともいわれます。午も、また火の気をもつ、力強い存在です。この2つの「火」が重なり合う今年2026年は、情熱や行動力が高まり、勢いのある一年と解釈されています。大地を蹴って走り出す馬のように、自分の目標や夢が一気に動き出す。そんな一年になるよう頑張りましょう。

(途中省略)

冬休みに出逢った話を1つ紹介したいと思います。元松下電器産業、現パナソニックを創業した松下幸之助さんという方がおられます。たぶん皆さんは知らないと思いますが、この方が晩年、日本の政治の将来を危惧されて自費で創設されたのが松下政経塾。高市早苗現総理大臣もこの塾で学ばれたお一人です。ある時、松下幸之助さんが「僕もな、ようやく素直の初段になったんや」と口にされたそうです。「囲碁や将棋の世界では、一万回さすとほぼ初段になると聞く。僕は365日、毎朝素直になりたいと願い続けて30年、回数にしたら一万回願ったから、初段や」なるほど感心して「二段になるには、また30年かかりますね」と言うと、「そやな。素直の名人は神さんや」、その言葉に心を打たれたその方は、自分も何か実践しなければと思い、日々の感動体験を綴ったデイリーメッセージの発信を始め、33年間一日も休まずに続け、自分もやっと初段かなと思ったそうです。私たちには人生の素晴らしい先輩たちがおられます。その先輩たちが、「人間として一番大事なことは何ですか？」と尋ねられた時の答えとして、最も多いのが「素直さ」だそうです。「素直さ」大事にしたいものですね。

本日から、3学期が始まります。節目ごとの取組をこれまで同様に大切にしながら、今年の干支にちなみ、「大地を蹴って走り出す馬のように」力強く、そして確かな歩みを自分の目標や夢に向かって進めてくれることを願っています。

確かな学力

先月末に生徒アンケートを実施しました。これまで同様に高い肯定率を維持できた質問もありましたが、保護者評価と比べて、生徒評価の肯定率がほぼ低下していたことを真摯に受け止める必要があります。特に、問2～7の学習に関する内容で肯定率の大幅な低下が見られ、「振り返り」と「家庭学習の習慣」については、15%近い減少が見られます。子どもたちの率直な声を聴くなどして、分析に努めるとともに、3学期に学校全体としての具体的な改善策を図りたいと思います。

豊かな心

年末に能登半島への被災地支援としては、おそらく最後になるであろうメッセージ入りの土のう袋を作成しました。早いもので、大地震からもう2年が経ちます。現地は遅れ気味ながらも復興に向けて動き出しており、公費解体が随分と進み、更地や建て直した家が増えました。今回子どもたちに協力・作成してもらった土のう袋は、1月中旬に現地（穴水町）に郵送します。

